

2022年
3月15日
発売

A5判・上製薄・344頁・2800円+税
ISBN 978-4-904575-95-6 C0021

第一部 日本の近代化と統計
第一章 はじめに
第二章 日本の統計史——西欧との比較から
第三章 日本における統計史の時代区分
第四章 革命政府明治国家の縮図——一八八四年
第五章 近代国家の安定と社会構造の変化
——一九二〇年
第六章 戦時体制の国家と社会——一九四〇年
第七章 まとめ
第二部 歴史的統計を利用するにあたっての基礎知識
第八章 歴史統計を利用する際に知っておくべきこと
第九章 統計の分類表
第十章 統計資料の探し方
統計関係年表

佐藤正広 (さとこう・まさひろ)

1955年生まれ、1977年埼玉大学経済学部卒業、1985年一橋大学大学院経済学研究科修了。一橋大学専任講師、助教授、教授、特任教授を経て、2019年より東京外国語大学大学院国際日本学研究院特任教授。専門は日本経済史、統計資料論。主な著作：『国勢調査と日本近代』（岩波書店、2002年）、『帝国日本と統計調査——統治初期台湾の専門家集団』（岩波書店、2012年）、『国勢調査——日本社会の百年』（岩波書店、2015年）、『近代日本統計史』（編著、晃洋書房、2020年）



佐藤正広

数字はつくられた

統計史から読む日本の近代

統計制度の歴史が、 日本社会の特質を物語る

近代西欧で生み出された統計制度は、幕末維新期に日本に移入され、「場」の論理と折り合いをつけながら、その時々々の関心と合理性にしたがって実施されてきた。21世紀の「統計不信問題」にも通底する統計のあり方から、日本における近代化の意味を問う。歴史的統計データの利用法の解説付き。



東京外国語大学出版会

Tokyo University of Foreign Studies Press

発行：東京外国語大学出版会 TEL：042-330-5559
URL：http://www.tufs.ac.jp/blog/tufspub/

*ご注文・ご予約は、最寄りの書店、各ネット書店にてお申し込みください。全国の書店でお取り扱い可能です。